安全への提言

より安全な未来に向けて
― リスク補償行動を超える ―

武藤　潤†

2022-2023年度の安全工学会の会長を務めさせていただいた．これまで，石油産業に長く従事した経験から，リスクベースで取り組む安全管理，企業活動と安全のリーダーシップ，当事者意識と実効性など執筆・意見を発信する機会を得た．退任するにあたり，安全な社会の実現に向けて，何を今さらと思われる事もあろうが，心理的安全性が確保されているという前提で，今，感じていることを整理してみた．

1．社会はより安全になってきた

安全工学会が発足して60年余，いろいろな事故統計を俯瞰すると，例えば交通安全では自動車の安全装置や性能の向上，道路の整備が進み，より高速での運転が可能になりつつ，交通事故の死亡者は年間15 000人から3 000人程度に減少した．労災で亡くなる方も，各種産業用機械の導入を図りながら，年間6 000人から1 000人程度にまで減少した．これまでの先人の安全の取り組みによって，社会全体の安全の水準は着実に改善している．しかし，事故は減少傾向にあるとはいえ，悲惨な事故は，依然として発生しており，より安全な社会を目指して，再発防止・未然防止の取り組みに改善の余地を感じている．

まず，再発防止ついてだが，事故の領域を限定できることから，再発防止は容易に思えるが，残念ながら，類似の事故は後を絶たない．事故の根本原因の究明と効果的な対策が持続的に行われていれば事故は再発しない．原因究明と対策が十分とはいえない．つい人間の不注意を原因にして，注意喚起を対策にすると事故の再発防止にならない．なぜなら人間は不注意だからである．

未然防止では，リスクアセスメントにおいて，リスク想定やリスク事象の発生頻度・影響度の過小評価に改善の余地を感じている．「絶対安全とかリスクゼロを目指す」といった安全を追求する強い決意とか覚悟は否定しないが，実際の社会では，リスクゼロや絶対安全はありえない．現実はリスクで満ち溢れているし，ゼロにすることはできない．大切なことは，リスクを積極的に見いだす姿勢で臨むことだ．楽観的な前提でリスクを過小評価すると，思考停止に陥り未然防止に支障をきたすことになる．未然防止の鍵は，実効性のあるリスクマネージメント（PDCA）の継続に尽きる．

2．再発防止と未然防止ができれば，事故は起きない

いろいろな安全活動のPDCAの結果が，安全であって，効果的，継続的な安全活動無くして，安全面の改善は望めない．処方箋として，なにか特効薬があるわけではないが，安全活動の「質」「実効性」を継続的に改善することが重要だ．実効性はマンネリや慣れで時間の経過とともに形骸化する．人事異動や組織変更などで経年劣化もする．安全活動のPDCAに携わっているのは人間であるという事実にもとづいて，「安全活動の質と実効性」を維持・改善してゆくのか問われている．

3．実効性の形骸化・劣化，目的と手段，目的に立ち返える

実効性の形骸化・劣化に共通して言えることは，目的が忘れ去られていることだ．目的のための手段（行動）だが，いつしか手段が目的化する．訓練のための訓練，実績つくりのための形だけのアセスメント，法令順守も本来の目的を忘れて時に実績つくりになったりするので要注意だ．一昨年の知床の遊覧船の沈没事故では，直前にいわゆる車検を受けて合格しているから船に法的問題は無いというような発言があって，驚いた記憶がある．

劣化する実効性，人間の意識に対して「目的」に立ち返り補強し続けることが重要だ．

4．リスク補償行動を超えて安全な社会を実現する

私の趣味は登山で特に雪山を楽しんでいる．転倒や滑落は，事故・遭難に直結するので，次の一歩，次の行動に潜む危険は無いのか，危険予知は真剣そのものだ．リスクアセスメントにも余念がない．計画時，山の選択において，自身の体力やスキルで無理はないか，道具・装備に不足はないか，コンティンジェンシープランは機能するか，自問自答が尽きない．さて，山の経験が増すにつれ，道具や装備は充実し，経験とともにスキルの向上も実感できるのだが，より安全な登山のために改善しているかと問われると確信が持てない．道具や装備は充実し，経験値としてのスキルが増した分，より難易度の高い山に登るようになるからだ．リスク補償行動だ．冒頭の自動車の例は安全装置の進歩や道路の整備で，高速の運転が可能になるなど，リスク補償行動で多少のオフセットがあっても，事故は見事に減少している．背景には事故率や死亡者の削減など具体的な目標があってこそだと思う．今後，生成AIをはじめDXなどイノベーションで省力化，効率化は大胆に進展する可能性はある．具体的な安全面の目標をもって，リスク補償行動を凌駕する安全の向上を実現し，安全・安心な社会になることを願っている．

† 鹿島石油（株）：〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-2